

会報

第559号

発行日 令和4年1月25日

担当 沼津市立第四小学校
発達通級指導教室「おひさま」

住所 〒410-0832 沼津市御幸町4-1

TEL 055-931-0354

FAX 055-931-0367

「昔、嫌いだったものが、今は得意になっているんだよな」

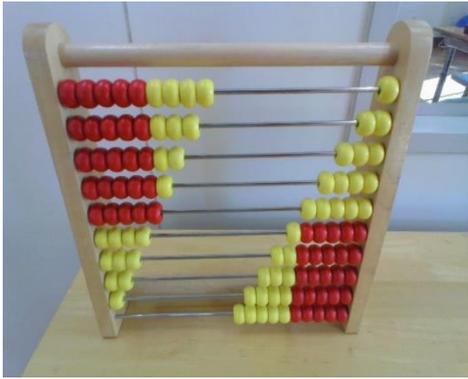
沼津市立第四小学校 校長 羽田稔彦

本校の通級指導教室「おひさま」で、担当のY先生と3年生のT男さんとの授業を参観しました。Y先生からいただいた指導内容の中には、T男さんの課題のキーワードとして、「集中力・手先が不器用・衝動性」の言葉が書かれています。

活動は、まず、体幹トレーニングから入りました。T男さんは、「本気出すかな」とつぶやき、名札をとって、気持ちのスイッチを入れます。きっと普段の生活の中でも、彼は気持ちが切り替わる時に、何か個性的な表れを見せているのではないかと思われそうですが、あまり認めてもらえません。おひさまでは、そこを認めてもらえることで、やる気、集中力を高めていました。

トレーニングは、先生と一緒に進めます。T男さんの目の前には、やることが図解された絵が、やる順に示されていました。T男さんは、「はい、次はこの運動」「はい次はこんなふうにやってみよう」という、先生に指示されるままにトレーニングをしているように見えたのですが、そうではありませんでした。彼が、トレーニングを終えると、「先生、カエルは？」と言ったからです。「やっていないトレーニングがある」と気付いた彼は、指示にしたがって、ただやっていたのではなく、図と比較し、順序を確認しながらやっていたのです。普段の教室では見られない彼の集中力と思考力の発揮がそこにはありました。





次の活動は、「10をさがせ」でした。100玉そろばんで、「1と9、2と8・・・」と声に出して確認した後、プリントに10になる数の組み合わせを書いていきます。活動をやり始めようとするその時、T男さんがぽつりと「昔、嫌いだったものが、今は得意になっているんだよな」と、つぶやきました。「好きになった」ではなく、「得意になった」という言葉は、T男さん

自身が、自らの成長や変容について振り返り、自分のよさや可能性に気付いたことが「自信」となって表れた言葉です。「おひさま」で育まれたその自信が様々な活動に転移していくことで、彼の自信がやがて「自律」へとつながっていくのだと思います。

この時間の最後の活動は、「キャプテン・リノ」というカードゲームでした。このゲームは、ビルを崩さないように、折り曲げたカードを柱にして乗せ、手札から次の床を選んで重ねていきながら、手札を一早く無くすことを目指すゲームで、手先の器用さや集中力が必要です。先生がルールを説明していると、T男さんは、「UNO と一緒だね」と言い、共通点を見出して、



ルールを解釈していきました。自分の経験や既習の知識と結び付けて理解していく力の発揮です。

また、ゲームをやりながら、彼は、「ぼくには作戦がある」「次の作戦を考えてある」などと「作戦」という言葉を口にしていました。その「作戦」という言葉が、Y先生に勝利すると、「キャプテン・リノ大作戦成功」と「大」という言葉が加わり、変化しました。さらに「次は、K先生に、キャプテン・リノ大作戦パートIIでやる。」と次の時間への意欲を口にします。自分の力を発揮し、自分で感じる事ができた自信がこのような表現になったのだと思いました。

おひさまでのこれらの活動は、教師がまず教える活動が前提にあるのではなく、子供の中に眠っている力、本来持っている力やよさを引き出すことが前提となって、教える、評価する、振り返るなどの活動があり、子供が主体的に身に付けていく学びがあるのだと思いました。子供ができないことを補っていく場所ではなく、その子の隠れている力を発揮させ、自信を育む場所。本校の通級指導教室「おひさま」はそんな場所です。

発達通級指導教室「おひさま」紹介

第四小学校「おひさま」では、教室に思わず運動したくなるしかけを設置しています。「説明しなくても何をすればいいかわかること」「楽しみながら自然に体を動かせること」を意識して教室づくりをしています。

バランスコース

教室に期間限定で出現するコースです。何も指示しなくても、教室の入り口から自分の席まで棒や飛び石の上を歩いて進みます。



風船タッチ

天井から風船を吊しています。ひもを引っ張って高さ調整もできます。どんどん高くしていくと、子どもたちは夢中になって何回もジャンプします。

的あて

4色の球を投げて、的につけます。子どもたちは、「分かった！同じ色のところにつけばいいでしょ」と、教えなくてもルールを理解して投げ始めます。



ハンドグリップ・握力計

5kg、10kg、15kg・・・と、たくさんのハンドグリップを並べています。「〇kgが握れるようになった！」と嬉しそうに話す子もいました。



ラダートレーニング

床にビニールテープで印をつけています。
ジャンプやステップの練習に使います。



的あて(フリスビー)

段ボールと牛乳パック製の的を、フリスビーを
当てて倒します。サメのイラストは、子どもが描
いてくれました。



なわとび

いろいろな長さ、種類のとびなわを用意しています。身長、
練習する技、好みに合わせて選ぶことができます。



バランスボール・チェア

ぐらぐらする感覚が好きな子どもは、バランスボ
ールやチェアに座って活動することもあります。



卓球台

いつも教室に卓球台がセットされていて、やりたいとき
にすぐ出来るようになっています。